

たが、あつという間に午後の講習です。

午後の講習は「七級から二級までの教材」講師は東豆地区の大竹庸及先生（以下、大竹先生と略）です。大竹先生のお話は初めてで、かつ教材作りは私がとても気になっていることの一つであるので、「しつかり聞くぞー」と緊張感を持つてのぞむハズでした。ハズというのも、聴講された先生方はもうお気づきだと思われませんが、始まるやいなや笑いの渦で、緊張感はどこかへ吹っ飛んでしまいました。配布された資料は「そんなの見れば分かるよ」と見入る間もなく、次から次へと大竹先生の武勇伝に笑いが止まりません。この原稿を依頼されていた私はメモを取らなくてはと分かっているのですが、忘れてしまい：二時間（より若干短めでした？）があつという間、終わってみたら「あれ？なんの話だったかしら」引き込まれすぎて覚えていないのです。さあ、困った。笑いをこらえながらとつていたかすかなメモと記憶を頼りに、指導者としてのポイントを復習してみます。

一、聞き上手になる：子どもの話を途中で遮らず最後まで聞く、すなわち全部吐き出させることが大事、さらに忠告は次の機会にするべきだと力説されました。これは、指導者、あるいは子育てにおいて大事なことで重々承知しているのですが、難しいのです。これができるようになりたい、子どもがなんでも話を聞いてもらいたい、聞いてもらえると思ってくれるような指導

者になりたいものです。しかしながら、大竹先生の話の場合、聞き上手は遮る間もなく聞いていたのしかないので？と冷やかしてみたくなるくらいポポンポポン：こちらも見習いたいのです。

二、イタズラ上手になる：鍵開けの話、現代のゲームっ子世代に見習って欲しい話ですね。必ず締めて帰るのも、善悪の区別をつける為の例え話として早速教室でも話しています。先生へタコをプレゼント他たくさんの話、伝わるかな。

三、子どもは親が喜ぶ姿が見たい：ほめ上手になろうとしばしば表現されませんが、ほめることより、親が喜ぶ姿を見せられるように仕向けるという観点はあまり気がつきませんでした。そういえば、元気な子どもは「合格したからお母さんも喜んでくれるね」というとうれしそうな表情になるような気がします。子育てにも参考になるアイデアです。

四、だまされ上手になる：「だまされちゃった」の違いの話は、私自身の子ども時代のことを振り返ると、今となつては先生や親は分かっていたのではなにかと思ふことが浮かんできます。大竹先生のお話をここにうまく再現できないのが残念なのですが、子ども達が後々大人になったときに「ああ、先生は、あの時はだまされてくれて自分の成長を助け

てくれたんだな」と感じてくれるような「だまされたふり」が演じられるようになりたいです。

五、忘れ上手：人間、忘却しなければ生きていけない、まさに同感です。嫌なこと（感覚）を忘れられるのは一つの必要な能力だと思えます。話はそれ「年のせいかわ覚えていなければならぬことも忘れてしまう」と自虐気味でしたが、いやいや大竹先生だけではございませんよ。年齢ではなく私の場合、元来の性格に加えてあまりの忙しさに「忘れん坊の先生」が代名詞、生徒にはそれを逆手にとつて「先生は忘れるから、次の時に〇〇をやるよと自分で覚えておいて言わないと、ずっとやらないことになっちゃうよ」と指導している位です。メモしておいたらそのメモを書いたことも忘れる、どこかへやってしまう：気をつけているつもりですがダメです。

そんなこんながあつという間の二時間でしたが、演題の教材については確



かに、見るとその通りにやってみるとできるよという作りで驚きました。私は絵を描いたりデザインが苦手なこともあり、オリジナル教材は文字数字ばかり、そして私が説明をしゃべりまくつてやつていくという形になっているのとは大違いです。現在、加減算の初歩教材を完成させたところで、次からかけ算わり算小数の導入教材の作成予定なので「その通りやってみるとできるよ」との目標も入れて取り組みたいと思います。大竹先生、楽しいお話をたくさんありがとうございます。今度、教材作りも、武勇伝の続きもまだまだたくさん聞かせて下さいね。

終了後、なんとか天気が持ったと空を見上げるとポツポツと雨が：大変、ダッシュで帰らなくては！結局自転車を猛烈にこぎながら家路についた私でした。なんとも慌ただしい私ですが、腰を落ち着けてじっくりと話を聞くことができ、さらに笑いの連続の一日となりました。講師の先生方、準備等をお手伝いいただきました研修部の先生方始め執行部、事務局の先生方、誠にありがとうございます。この講習を糧にまた今後の指導に精進して参りたいと思います。なお、今回のお話は自分自身の指導に直接関わる部分が多かったことでも身近に感じられたせいか、本稿のところどころにあまりにくだけた表現を使用していることをお許し下さい。